



錦町議会だより



2021.NO
137

稲刈り



今年の豊作を願って



令和3年 第2回 定例会

追加予算 約2億9千万円を可決 子育て世帯への臨時特別給付金を計上

令和3年第2回定例会は、2度目となる「通年議会」の試行期間として、会期を6月7日から8月31日までの86日間とした。令和2年度各会計補正予算等の専決処分6件のほか、令和3年度各会計補正予算4件、条例改正等3件、報告3件、諮問1件、契約1件が上程され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認、可決し、6月11日に散会。12日以降は次の会議を再開するまで休会とした。令和3年度一般会計補正予算の主なものは、災害に備え救助用ボートの購入費、委託料、予備費等を増額計上したほか、プレミアム付商品券発行事業補助金や飲食店時短等要請協力負担金、子育て世帯への臨時特別給付金、被災住宅等移転支援事業補助金、くま川鉄道災害復旧補助金など。今回の一般質問には、9人が登壇し、執行部の考えを質した。

条例改正等

① 錦町税条例等の一部を改正する条例（専決処分）
地方税法等の一部改正に伴い改正するもの

② 錦町重度心身障がい者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例
対象者が本町へ転入した際の不支給期間が発生しないよう改正するもの

③ 錦町情報通信施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
あいねっと放送の普及促進を図るため加入条件を緩和するもの

④ 字の区域の変更について
飛び地となっていた字宮の前の12区域を字鶴ヶ岡に編入するもの

報告

① 令和2年度錦町一般会計繰越明許費繰越計算書
② 令和2年度錦町下水道特別会計繰越明許費繰越計算書

③ 令和2年度錦町一般会計事故繰越し繰越計算書

諮問

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

住所 錦町大字木上東

175番地1

氏名 久保田 健嗣

契約

町道山江錦線（木綿葉大橋）橋面補修工事請負変更契約について

契約金額

変更前 6,490万円

変更後 5,508万1,276円

契約の相手方 人吉市五日町

26番地5

三和建設株式会社

新たな議会構成

平成31年の統一地方選から2年を経過した錦町議会は、総務建設、厚生文教経済、各常任委員及び議会運営委員の任期満了に伴い、閉会中の



流失した球磨川第四橋梁 (R2.8.3)

4月26日付けで各委員の選任を行い、議会構成を変更した。また、6月定例会初日には、広報特別委員の補充選任を行い、新委員として、竹田氏、吉田氏を選任した。

委員紹介

○議会運営委員会

委員長 岡田 武志
副委員長 上村 辰生
委員 池田 秀晴
石松 まゆ子
藤川 喜一



岡田委員長

○総務建設常任委員会

委員長 池田 秀晴
副委員長 吉田 眞二
委員 金山 民幸
守山 慶次郎
藤川 喜一
岡田 武志



池田委員長

○厚生文教経済常任委員会

委員長 石松 まゆ子
副委員長 早田 和彦
委員 荒川 孝一
右田 宣之
上村 辰生
竹田 農利人



石松委員長

○広報特別委員会

委員長 荒川 孝一
副委員長 竹田 農利人
委員 池田 秀晴
石松 まゆ子
吉田 眞二



荒川委員長

第2回定例会一般質問事項一覧

議員名	質問事項	質問の要旨
竹田議員 (P 6)	町民と考える ごみ対策について	①錦町護美対策推進委員会の活動は ②クリーンプラザごみ搬入は、費用は ③ごみ減量化のための分別徹底、生ごみ水切り徹底の町民の協力は ④可燃物、不燃物の出し方の広報、ごみ出し読本の活用と今後の計画は ⑤プラスチック製容器の分別は ⑥各分館の資源ごみの日の年間回収量は ⑦補助金の増額の計画は
	リフォーム補助金について	①要件や補助金額の見直し後、再スタートした内容は ②自分たちの所は町水道、下水道がないので補助金がもらえないとの声があるが ③リフォーム補助金は令和6年までの計画、再度の見直しは
早田議員 (P 7)	熊本県中学校共通テストについて	①年2回から1回になる事について ②民間のテスト導入予定は
	災害時のペット同行避難について	①同行避難できる避難所設置の考えは ②飼い主への災害対策普及啓発方法は
	新型コロナウイルスワクチン接種について	①64歳以下の接種開始時期は ②接種の方法は ③住所地外接種について
	秘密基地ミュージアムへの交通アクセスについて	①乗り合いタクシー停留所は ②飲食店との提携は ③高齢者入館料は
吉田議員 (P 8)	コロナ禍の中で町民支援について	①成人式、敬老会予算の増額の考えはないか
	農業、農作物の振興支援について	①J A球磨のお茶のペットボトル、行政としての支援は ②果樹農家の乗用草刈機補助対象にできないか ③耕畜連携、本年水稲後の飼料作物収穫後の堆肥散布について ④被災農地の本年作付け困難農地の支援について
右田議員 (P 9)	令和2年7.4水害により被災した箇所 の復旧・復興の進捗状況について	①被災箇所数等の確認 地域整備課…道路、河川、橋梁 農林振興課…農地(用排水路を含む)、農業施設、農業機械等、林道 教育振興課…学校施設 ②上記中、国の災害査定等を受け公費にて復旧・復興ができる若しくはできた箇所数及び補助率は ③それぞれの進捗率は、また、現段階で100%に達していない箇所の完工予定は ④特に農地被災で今年田植えができない箇所を見受けるが、それらの耕作者に支援の予定はないのか
岡田議員 (P 10)	建設が決まったバイオマス発電所について	①そもそもバイオマス発電とは ②今、ものを燃やすことが問題視されている 農家から出る剪定、伐採した樹木を有効利用できるのでは
	いろいろな産業で人手不足が深刻な中、本町のシルバー人材センターについて	①シルバー人材センターの歴史と現状は ②現在抱えている問題点は
	鳥獣被害対策について	①現状と問題点は ②有害鳥獣も生き物であることには変わりはない 子供達を対象とした命の授業に取り入れられないか

藤川議員 (P 11)	木上新立地区に計画実施されている「大規模土地開発事業」について	①計画の概要は ②町の関わり方は ③近隣住民の要望への対処は
	学校教育における環境整備について	①木上小学校プール移転問題は ②木上小学校体育館の改修(改善)予定は
	副町長人事について	
池田議員 (P 12)	令和2年7月豪雨災害による被災した箇所への再被災対策はについて	①平良・福島間をつなぐ橋梁の出水による倒壊に対する対策は ②出水による橋梁が倒壊した影響で被災した家屋の補償は ③激甚災害に指定された箇所の降雨による被災拡大による再指定はあるのか
	人吉海軍航空基地資料館の整備進捗状況について	①観光協会の法人化後の管理運営は ②松根油の設計からくる整備計画は
	新型コロナの予防接種について	①予防接種に対する接種者の不安解消策はあるのか ②今後、全町民接種者への接種100%目標の考えは
石松議員 (P 13)	水道事業について	①水道事業が始まった経緯、時期、沿革について ②錦町の経営の状況と加入率、給水人口、有収率、需要の見通しは ③漏水の原因と調査は ④有収率向上の対策は ⑤水道料金の今後の見通しは ⑥一般会計からの繰り入れの推移と法定内の繰り出し金は ⑦財政投資の計画は ⑧安心、安全な水の対策は ⑨都市計画法と新過疎法から見えるものは ⑩水道事業経営戦略について
	豪雨災害からの復旧復興の対策の現状とこれからの取り組みについて	①命を守る防災、減災の強化 ②農林水産基盤の復旧復興と治山、山の再生強化 ③生活道路、河川施設、砂防施設の復旧復興は
荒川議員 (P 14)	災害対策基本法の改正に伴う、本町における避難周知と対応について	①気象庁の警戒レベルだけでなく、本町独自の判断が求められる判断基準は ②「高齢者等避難」に対するの課題及び「障がい者避難」の課題(福祉避難所の確保・運営ガイドラインの確認) ③コロナ禍においての予防接種会場と避難所の日程、会場変更等はどのようにするのか
	本町のデジタル化についての町長の考えは	①本町のデジタル化についての町長の考えは

上半期一般質問一覧表

	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6	R2.9	R2.12	R3.3	R3.6
早田	-	○	○	△	○	○	○	○	○
石松	○	○	○	△	○	○	○	○	○
吉田	○	○	○	△	○	○	○	○	○
竹田	-	○	-	△	○	-	○	-	○
藤川	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡田	○	-	○	-	○	-	○	-	○
上村	-	○	-	△	-	-	-	-	-
池田	○	-	○	-	-	-	○	-	○
右田	○	-	-	-	○	○	-	-	○
守永	-	○	-	-	-	-	-	○	-
荒川	○	○	○	△	○	○	○	○	○
金山 議長	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	7人	8人	7人	1人	8人	6人	8人	6人	9人

※△は、通告後、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、一般質問を取り下げたもの



一般質問

町政のここが聞きたい

9人が登壇
(要約掲載)

「町民と考えるゴミ対策」



竹田 農利人 議員

竹田 今、何故ゴミについて問題視されているのか？。技術が発達し、便利な時代になった分、耐久消費財の頻繁な買い換え、過剰包装、使い捨て商品の増加、生活雑貨等安価入手可能により物を大切にしなくなったことが原因では。町民のゴミ問題

に意識を向け、錦町のゴミ対策は。錦町護美対策推進委員会の活動内容は。

住民福祉課 ゴミの減量化、ゴミの資源化及び環境美化を図る目的に、住民と行政が一体となり環境美化活動を展開、推進員は地域の環境美化、ゴミ集積所の状況確認指導等している。

竹田 クリーンプラザの搬入状況は。

住民福祉課 ゴミ総量2722トン、処理費用1億255万円、一人当たり処理費9845円、年々増加の状況。

竹田 ゴミ減量化のためのプラスチック製容器包装、紙製容器包装の分別と生ごみの水切徹底等、町民の協力は。

住民福祉課 リサイクルステーション等の活用増加もあり分別の徹底はできている。生ごみは、生ごみ処理容器等設置補助金を使い、処理機、処理容器購入の方々が増えている。

竹田 可燃物、不燃物の出し方、ゴミ出し読本の活用は。

住民福祉課 転入の方には、ゴミ出し読本配布、新たにアパートができた時、管理会社から説明協力をお願いしている。

竹田 プラスチック製容器の分別は。

住民福祉課 リサイクルが年々増



正しく分別をしましょう！

加。人吉球磨で、錦のみ実施、実績で27t、容器包装リサイクル協会より高い評価を受けている。

竹田 海洋プラスチック問題で、毎年世界で800万tのゴミが流入、海の環境問題が「大」である、徹底回収を実施するよう町民の方々の協力を。

リフォーム補助金は

竹田 要綱や補助金の額、見直し内容は。

地域整備課 今年で9年目、地域経済の活性化と住環境の整備並び町内事業所支援に、大きく寄与する事業。

竹田 補助金がもらえないと聞くと。

地域整備課 町独自の補助制度、一定の要件は定めている。町税等滞納がないこと、町水道・下水道への接続又、接続するための工事であること。補助金がもらえないと言う声については、誤解がある。

竹田 今後の計画は、令和5年3月まで、再度検討を。

町長 町の財源等を見ながら行くべきと思う、期限があるので、今後検討する必要があるのか考える。

災害時、ペットと避難は車中泊

災害時のペット同行避難できる避難所設置は

早田 錦町の犬の登録頭数は、653頭、ハザードマップによる危険個所での登録頭数104頭、災害時の人命優先は理解しているが、ペットとの同行避難を希望する飼い主もいる。同行避難所の設置の考えは。

総務課 基本的に、避難所は人が避難する場所と考えている。ペットを



早田 和彦 議員

持ち込むためには、日頃から一緒に避難出来る様に慣れさせておくことが非常に重要。避難所は、数も面積も限られていることから、ペット同伴の場合は、避難所敷地内での車中泊が考えられると思う。



上一丸 岡村こてつ君 2才

住民福祉課 災害に備えたペットに対する特別な対策はない。避難として同行避難、それが難しい場合知人宅、動物病院等の確保も一つの手段と考える。啓発については、環境省のガイドラインを活用したい。

64歳以下のワクチン接種時期は

早田 ワクチン接種方法は。

健康増進課 広報6月号で知らせているとおり、基礎疾患のある方を優先し、基礎疾患のない方についても速やかに年代順に案内する事になっている。また、接種の方法については、病院などによる個別接種と保健センターで実施する集団接種の2つの方法をとる予定としている。

早田 ワクチン住所地外接種の申込について、手続きの仕方は。

健康増進課 住所地外接種については、学生や単身赴任などで町外に在住の方が対象となり、手続きの流れとして、錦町に接種の申し出をし、

接種券、予診票を発行、その後、接種を受けた医療機関がある市町村へ住所地外接種届を提出する事になる。

早田 人吉球磨管内での接種には、住所地外接種届は不要との事だが。

健康増進課 人吉球磨管内の10市町村で事前に協定を結び、同一実施の枠組みを取っているため、10市町村を一つの自治体としている。

ひみつ基地ミュージアムへの交通アクセスについて

早田 乗り合いタクシー停留所を作ると来場者も増えるのでは。

総務課 現在、乗合タクシー利用者の方が、人吉海軍航空基地資料館へ運行を希望しているとの話は、受託事業者も聞いたことがないとの事。現時点では、乗り合いタクシーの停留所は考えてない。

早田 是非、停留所を検討願いたい。

町のPRのひまわり



吉田 眞二 議員

吉田 JA球磨のお茶のペットボトル、行政としての支援は。

農林振興課 イベント、式典、会議等で可能な場合使っていく。

吉田 ペットボトルのラベルのイラストに同じ面が2面ある。1面を町が借りてひみつ基地ミュージアム等町のPRとお茶の消費拡大、販売を商工会の商協にお願いして町の活性化に使用させていただく考えは

ないか。

企画観光課 町のPRになる。前向きに検討させていただく。



JA球磨のペットボトル

「農業の振興」 高品質果樹生産の為

吉田 本町の特産品の一つである梨・桃等、高品質な品物を生産販売する為に果樹農家の乗用草刈機を補助の対象に出来ないか。

農林振興課 果樹に特化した品質向上効果が見込まれるものが対象、乗用草刈機は汎用性があり、現在は補助の対象にしていない。

吉田 農家の方は果樹園以外の使用は無いとの事、草が伸びたら病害虫が発生するので5、6回程度草刈管理をされる。規模拡大、高品質生産に向けて是非検討をお願いしたい。

「循環型農業」一歩進んで

吉田 本年は例年に比べ20日ほど梅雨入りが早い、耕畜連携をどのように指導されるのか。

農林振興課 水稲後の飼料作物に向けた年度内散布であれば、条件を満たす。

吉田 畜産農家も規模拡大で増頭が進むと同時に堆肥も増えてくると考える。今後の対策は。



病害虫予防のため、草刈された園

町長 堆肥を循環型として利用してもらおう。堆肥を田んぼ、或いは農地に運んだらすき込む事をぜひお願いをしたい。

吉田 規模拡大、増頭が進めば堆肥も増える。普通水稲作付農地への堆肥散布も耕畜連携として出来ないか金額は低く設定して堆肥の循環、循環型農業推進の為是非検討をお願いしたい。

水害被災箇所の 復旧・復興はいつまでか？

右田 昨年7・4水害による被災箇所数は、地域整備課、農林振興課、教育振興課に伺いたい。

地域整備課 道路90ヶ所、河川38ヶ所、橋梁1ヶ所の129ヶ所となっている。

農林振興課 農地38ヶ所、農業用施設20ヶ所、農業用機械337件、林道7路線21ヶ所となっている。

教育振興課 木上小北側法面1ヶ所。

右田 只今、私が予め提示した分に



右田 宣之 議員

ついて報告を受けたが、それ以外に
あったら追加でお願いしたい。

地域整備課 里道水路等ほか、町有地等も含めて49ヶ所となっている。

農林振興課 自力復旧をされた農家で機械リース代等の補助3件。

右田 報告があった件数のうち、国の支援を受け復旧、復興ができる箇所数について伺いたい。

地域整備課 道路13ヶ所、河川19ヶ所、橋梁1ヶ所の合計33ヶ所。

農林振興課 農地18ヶ所、農業施設17ヶ所、農業用機械等337件、林道7路線21ヶ所となっている。

教育振興課 木上小北側法面工事1ヶ所となっている。

右田 被災箇所が多岐にわたり現状からして工期が年度内完工は可能なのか伺いたい。

地域整備課 全体で181ヶ所中149ヶ所は完工しているが、7ヶ所については未発注で理由としては、県工事との絡みであったり、橋梁については非出水期工事となる関係もあって全てが年度内完工とはならない状況と考える。

農林振興課 林道について、7路線中6路線は年度内発注は可能と考えるが、1路線だけは、手前の路線が復旧しないと侵入できないので繰越しは止むを得ないと考える。

右田 町長に、復旧、復興に要した経費の総額と国県補助金及び一般財源額について伺いたい。

町長 総事業費24億7千6百55万円、補助金14億7千800万円程度、残り9億9千800万円が町負担分で、内6億円程度地方債（借金）を発行しているのが実情である。

右田 農地被災で今年田植えができない耕作者に支援ができないか。高齢者で飯米農家故に今年は米を購入せざるを得ない。それに農地復旧に要した経費分を受益者負担金、これについては、町の努力もあり、かなり低い負担率で助かるが、高齢者にとっては負担増となるので考慮願いたい。

町長 実情はしつかり分かったので熟慮したい。

右田 被災者のよりどころは、町行政しかないので最善をお願いしたい。



土砂流入で、田植えができない水田

建設が決まった バイオマス発電所とは



岡田 武志 議員

企画観光課 活用する資源には、木質系、農業・畜産・水産系、建設廃材系に分類され、今回建設を予定しているバイオマス発電所は主に山林から出る未利用間伐材を利用するもので、発電容量は、一九九〇キロワットおよそ2メガで、三五〇〇世帯の電力を供給できる規模である。

企画観光課 バイオマスとは、動物や植物などから生まれる生物資源の総称で、それを直接燃焼させたり、ガス化して発電を行い、地球温暖化対策や廃棄物の再利用また、減少につながる効果が期待されている。

岡田 今、地球温暖化の原因の一つとされる、二酸化炭素の排出を抑えるため、世界中でさまざまな取組が行われているが、発電にはどのような物を使用するのか。

る証明書により、一般木質バイオマスとして全く受け入れが出来ないというわけではない。業者との慎重な検討が必要だ。

岡田 建設運営までにはまだ時間がある。錦町にバイオマス発電所が出来て良かったと、町民の方々から言われる事業所にして頂きたい。

「シルバー人材センターの現状について」

岡田 今、どこの産業でも人手が足りない中、人材センターに対して要望も多い。会員数の減、高齢化が問題視されているが、町長の考えは。

町長 現在の会員数は68名、平均年齢は72歳と聞いている。人材センターの理事長として出来ることをやっていく。

「鳥獣害対策について」

助金を出している。

岡田 対価と被害を考えると、アナグマは上げるべきだと思う。また、有害鳥獣も生きものである。命の授業に取り入れてはどうか。

教育長 害獣とか害鳥、或いは益鳥という言葉があるが、有害鳥獣という言葉は、人間の営みにとって有害であるということで、人間の生活と自然環境とのバランスの視点から、状況に応じて、よりよい方法を考えていく力を高めるような命の学習が必要だと考える。

企画観光課 農家から出る剪定した樹木については、所有者自ら作成す

農林振興課 現在、猿5万円、鹿1万円、イノシシ9千円、アナグマ2千円、カラス、ヒヨドリ千円の補



作業を行うシルバー会員



藤川 喜一 議員

老朽化して危険・不便 ―木上小プール移転改修を！―

藤川 木上小学校プールの「危険性」「不便性」については何度も指摘しているが進展していない。4月に教育長が新たに就任された。木上小プールの移転問題についてどのような印象・感想をお持ちか見解を伺いたい。

教育長 要約すると次の三点だ。

①校舎からプールまでの距離が離れており水泳時の子供の安全確保が危惧される。②プール自体が老朽化し

傷みが激しい。③校舎と同じ敷地内への移転が望ましいが大きな予算が伴う。町財政の現状からすると改修しながら延命していくことが妥当ではないか。

藤川 木上小プールは建設から既に49年経過（47年8月竣工）。更衣室やトイレも古くてほとんど使われていない。耐用年数も過ぎているのではない。「移転の必要性」はわかるが予算がないという話ばかりだ。「カネ」より子供の「命」が大事ではないか。と言いたくなる。「危険性」「不便性」に加え「老朽化」して限界だ。移転について決断すべき時期に来ているのではないか。町長の見解は。

町長 国に向いて補助事業に乗らないかと話をしたが補助を受けることが出来ずプール移転については一

度計画したが断念した経緯がある。今の財政状況からして他の公共整備等もあり厳しい。当面修繕しながら延命していくしかない。

藤川 財政のことは理解するが教育長も移転の必要性を認識している。引き続き早急な移転に向けて努力していただきたい。

木上新立地区に実施計画されている大規模土地開発について

藤川 この土地開発事業（木上新立地区）の概要について町はどのような把握しているか。

いる。

藤川 土地開発造成によって災害が起きる危険性や地域住民の生活環境が変化することを懸念されて地区住民（25区）から町へ要望書が出されている。町としても「環境協定書」の締結など住民の不安払拭に向けて積極的に関与されたい。

※その他「副町長人事」についても町長の姿勢を質した。

※本人の希望により原文のまま掲載

企画観光課 開発行為の前に特に開発業者から報告などなく国土利用計画法に基づく適正な手続を怠り事業が進められた。県に違反事例として報告している。まちづくり条例において、大規模な開発行為については開発行為の内容を報告してもらうようになっている。報告によれば乳牛育成事業をしており自給飼料が不足している為栽培農地を確保するため

に土地を取得した。と説明を受けて



老朽化した木上小プール 早急に「移転」を。

豪雨災害による被災した 箇所の再被災対策は



池田 秀晴 議員

平良・福島間をつなぐ橋梁の出水による倒壊に対する対策は。

池田 今年の異常出水で橋梁が倒壊し堤防の決壊を想定した考えは。

総務課 梅雨期及び台風による大雨など昨年同様の降水量であれば、倒壊する恐れがないとは言えない。

池田 橋梁の解体はいつからどのような方法で解体されるのか。

地域整備課 11月から5月の非出水期に上部工の下に受け架台を設置して、ワイヤソー切断でコンクリート床版を切りながら撤去する。

池田 出水による橋梁が倒壊した影響で被災した家屋の補償は。

総務課 町の瑕疵でなく自然災害によるものと思うので、この賠償法にはあたらないと考える。

地域整備課 自然災害等に対する補償が対象とならない為、家屋の被災に対する補償は難しいと考える。

人吉海軍航空基地資料館の整備進捗状況について

観光協会の法人化後の管理運営は。

池田 国からの推進交付金が終了した場合の観光協会の管理運営は。

企画観光課 専従の職員を雇用し、営業・広報担当や教育旅行担当、労務・経理担当など配置し専門的な人材の育成を進めている。

池田 観光協会は自立できると思えない。自立できないときは一般財源から投入するのか。

企画観光課 国の推進交付金を活用した事業で「次世代に平和をつなぐ拠点施設を核とした誘客事業」を実施しながら令和4年度までに収支を均衡させ、令和5年度において収入が支出を上回るようにシミュレーションしており、推進交付金の終了後独立採算による運営計画している。観光協会は、町の観光振興、働く場所の確保、交流人口の増加に寄与する事業組織であり、町の支援をお願いする場合もあると考える。

新型コロナウイルスの予防接種に対する接種者の不安解消対策はあるのか。

池田 「命の危険」を考えると、町民の皆さんも不安に思っておられるのではないかと。

健康増進課 副反応などに対して不安に思われる方が多いことから、ワクチンの効果や安全性、注意点などを示した「説明プリント」による周知を行っている。

池田 厳しいかも知れないが、今後全町民接種者への接種率100%目標の考えは。

健康増進課 65歳以上の接種希望率としましては92%となっていることを報告し、接種が義務ではない以上個人個人の考え方を尊重しなければならないことが前提にあると考えている。



接種の瞬間
(チクッとしますよ!!)

水道事業の財政投資計画と 経営戦略策定は

石松 平成五年度から錦町水道基本計画に基づき始まった水道事業経営の中で、今回企業会計として独立採算制の原則に沿って、合理的かつ持続可能な経営を図るため、水道料金改定をされ、十月より値上げされる。錦町の経営状況、加入率、有収率、需要の見通しは。

り、減少傾向にあり非常に厳しい経営で、毎年一般会計から約九千万円繰り入れをしている状況である。

で料金改定をしていくとされるが、まずは漏水の問題など水道施設の適切な資産管理をしたうえで、検討すべきと考える。また、安心・安全な水を持続的に供給していくためには、一般会計からの繰入れ金額も国が示す法定基準内として内部留保も計画的に検討すべきと思う。財政投資計画は。

地域整備課 加入率78%、有収率77%、需要については人口減少等による。

石松 有収率が他町村と比べ非常に低い。錦町は整備事業が始まって、長い地区で三十年しかたっていない。施設の耐用年数からして老朽化が進んでいるとは思えないが、23%（金額にして三千五百万円程）が、無効水量となっている。原因と調査、有収率向上の対策は。

地域整備課 財政投資計画はしていないが、将来に向けた安定的な飲料水の供給のために必要な予算を確保していく。

豪雨災害からの復旧復興の現状と対策は。

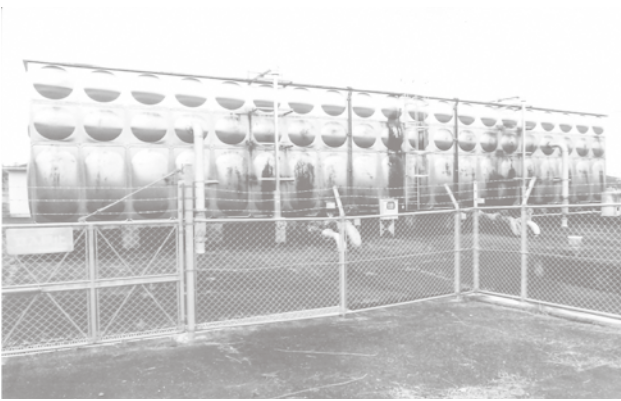
農林振興課 農地・農業用施設は全58か所であり、地権者と工法や復旧時期について調整がついたところから着工。林道としては七路線、21か所が梅雨明け後に工事発注予定。土砂流失や流木対策としては、土砂流出抑制対策検討会の中で大平地区をモデル地域として防災面に配慮した森林整備手法を確立していく。



石松 まゆ子 議員

地域整備課 原因がわからないため、まずは漏水調査をしながら地区水道管への接続箇所点検、長期計画を策定し、水道事業経営の負担軽減策を検討し、給水管の布設替えの必要がある。

石松 水道料金の今後の見通しの中



西地区低区配水池

障がい者ではなく 社会にある。



荒川 孝一 議員

荒川 災害時の避難所混乱防止の為、福祉避難所を当事者だけでなく、住民の方々にも周知するよう国の指針が提示された。本町として対応は、

総務課 町の防災計画で保健センターを公的な福祉避難所としている。民間の福祉避難所については、基本、対象者が介護の認定を受けられた要介護認定4・5の方とかが避難される場合の受け入れ先、それ以外の障がい者、あるいは妊産婦の方のいざという時の受入れに保健センターを公

的な指定の福祉避難所という形で準備している。

荒川 保健センターを障がい者の避難所として特定していいのではないかと。国が平成28年に掲示している福祉避難所の確保、運営ガイドラインには障がい者の避難所を確保するよう明記してある。議会で何度も私は訴えてきた。身体、精神、発達障がい者とその家族の避難の大変さを。受入れ準備ができる。その回答は何だ。今まで何も考えてこなかったのか。国は動いた。一般の避難所と福祉避難所の線引きと周知をするように。町は動かないのか。

町長 災害時の避難所、いろんなニーズに行政は応えなければならぬ。障がい者の避難所については、ひだまり館、ゆうゆう館を使いながら対

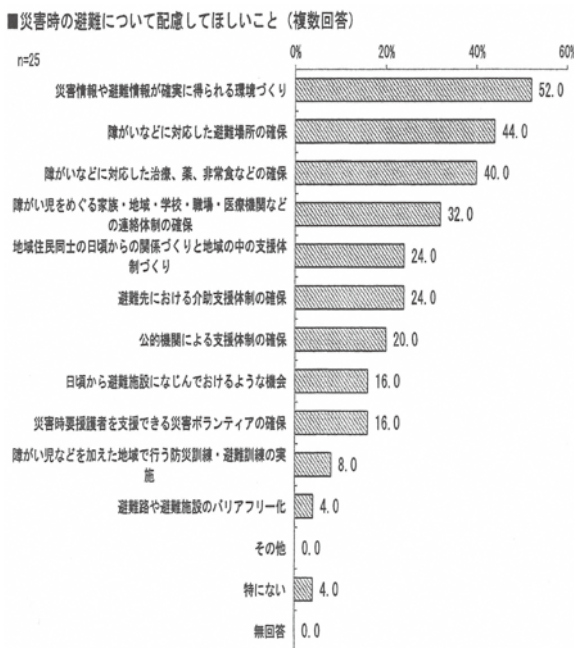
応じているかと思っている。

荒川 ゆうゆう館が障がい者の避難所であるとは誰も知らない。計画では町長の頭の中にあるかもしれないが、実際の障がい者は町長ではなく、町民の方、その当事者が知らなければ何の意味もない。錦町第6期障がい者福祉計画及び第2期障がい児福祉計画の中のアンケート欄「災害時の不安なこと」、避難所の設置や生活環境の不安40%、災害時の避難について配慮してほしいが52%と回答が出ている。前期の時も指摘したが、アンケートを取ることが役所の仕事じゃないはず。それを受けどう動く

かが役所の仕事ではないのか。

町長 アンケートというのは、アンケートを作って計画を作っていく。それに基づいて行動するというのが計画なので、今後、計画の中でしっかりと動いていきたい。

荒川 多くの障がい者とその家族と会ってきた。皆、日々の生活から絶対です。皆さんが想像するより何十倍も。ただ家族愛で乗り切っている。避難所等で差別を受けるといふことを錦町では無い様、提言し続ける。本気で、まずは役所から差別をなくす配慮を。



錦町等6期障がい福祉計画より

Topics

1

梅雨に備えて

5月14日、金山議長の呼び掛けで、毎年梅雨前に行われている役場職員による土のう作りに、今回、参加できる議員が参加しました。昨年、発生した七月豪雨直後、準備していた土のうが足りず、急遽土のう作りを職員、議員総出で行った経緯があり、今回は二千個を目標に、汗を流しました。（尚、土のう作りに参加した議員は、金山議長を始め、荒川、早田、石松、吉田、竹田、岡田、上村、池田、右田各議員）



議会トピックス

Topics

2

町村議会
常任委員長・議会運営委員長研修会

開催日 令和3年7月20日

場所 大津町文化ホール

演題 「コロナ禍での自治体防災マネジメントと議員の役割」

講師 跡見学園女子大学観光コミュニケーション学部教授（鍵屋一代）

コロナ禍での、自治体防災マネジメントと議員の役割という事で委員長研修が開催された。

秋田県出身の講師で、ナマハゲは災害ボランティア・五穀豊穡・家内安全の神様であり、人や地域の信頼の絆が強いご近所力。要配慮者情報で避難支援の命を守る防災のこころを学んだ。

防災意識と災害に対する危機感を常に持ち、日頃から防災計画や準備をして対応又個別避難計画で地域や福祉のつながりが必要。町村民の命を守るため、自治体と議会が一体となって行動する事がいかに大切か。

とくに自治体防災の中でいま何が
必要か、議会の中でもルールを作っ
て検討していく事が大切。

災害時の議会議員の役割として、
情報収集と災害情報など、きちんと
伝える事の大切さを学んだ研修で
あった。

令和2年7月豪雨から一年が過ぎ
た今後の取り組み、課題、今後どう
する？危機管理能力を高めるには、議
会が質疑・提案を通して重要性を訴
える必要性を感じた。



議会のうごき

4月

- 1日 ・ 全員協議会
- 8日 ・ 広報特別委員会
・ 定例郡議長会議
- 15日 ・ 広報特別委員会
- 20日 ・ 例月出納検査（～21日）
- 22日 ・ 広報特別委員会
- 24日 ・ 八代復興事務所開所式
- 26日 ・ 全員協議会

6月

- 1日 ・ 熊本県町村議会議長会臨時総会
・ 定例郡議長会議
- 7日 ・ 令和3年第2回定例会（～8月31日）
- 13日 ・ 錦町献穀事業（御田植祭）
- 16日 ・ 例月出納検査
- 23日 ・ 決算審査（水道事業）

5月

- 13日 ・ 錦町献穀事業（清祓祭・播種祭）
・ 錦まち観光協会総会
・ 定例郡議長会議
- 14日 ・ 土のう作り
- 17日 ・ 例月出納検査（～18日）
・ 人吉下球磨消防組合議会臨時会
- 21日 ・ 第14回錦町議会活性化特別委員会
作業部会
- 25日 ・ 全員協議会
・ 第11回錦町議会活性化特別委員会
- 26日 ・ 錦町防災会議
- 31日 ・ 人吉球磨広域行政組合議会臨時会
・ 議会運営委員会
・ 全員協議会



表紙解説

献穀事業（新嘗祭）について

皇室行事の新嘗祭（いなめさい）は、毎年11月23日に天皇陛下が新穀を神々に供えられ、ご自身も食される収穫と感謝の御祭り。全国の都道府県の農家から米と粟が奉献される歴史的、伝統的な行事である。

この行事は、五穀豊穣を祈り、収穫を感謝する神事のほか、民俗芸能や文化財の保護育成や農業の大切さを広く認識してもらう役割を果たしている。令和3年度、熊本県では錦町が選定された。



主要行事

- ① 清祓祭（きよはらいまつり）
播種祭（はこめまつり）
令和3年5月13日
- ② 御田植祭（おたうえまつり）
令和3年6月13日
- ③ 抜穂祭（ぬきほまつり）
令和3年9月～10月頃
- ④ 奉告祭（ほうこまつり）
令和3年10月～11月頃
- ⑤ 献穀献納式（けんこくけんなんしき）
令和3年10月～11月頃

吉田 眞二
晴美

軌跡

今まで東北地震の津波の模様を伝えるテレビ画面の端に、フラッシュ・バックにお気を付けてください」と言うテロップが表示されても、ただ、ア然ボウ然として傍観していた。だが、5年前の熊本地震では、ボランティアとして被災地に入り、昨年の7月豪雨では、地元の片付けボランティア、人吉の友人宅への見舞い、そして球磨村の親戚の家へ安否確認奔走と災害の傷跡の生々しさが記憶から消えず、テレビで幾度も流される映像に思わず目をそらす事もあった。命からがら避難した知人の、雨音で思い出し震える」と言う呟きにつらい心情を慮ると、相槌を打つことが軽々しいとためらってしまう、あれから1年。

本町においてもまだまだ多くの復旧工事が続くことを議会に報告された。人吉球磨が元の姿に戻るにはまだまだ時間がかかる。忘れてはならない出来事を胸に、一歩でも半歩でも前に進む故郷でありますように。

（文責 荒川 孝一）

【広報特別委員会】

- 委員長 荒川 孝一 委員 池田 秀晴
- 副委員長 竹田農利人 石松まゆ子
- 議長 金山 民幸 吉田 眞二